



佐世保市立広田小学校 学校だより

広田っ子

<http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hiroda/>

令和6年6月3日

第4号

佐世保市立広田小学校

佐世保市広田1丁目25番4号

TEL:0956-38-2076 FAX:0956-38-2098

(文責 校長 高島 秀雄)

<令和6年度 広田小学校学校教育目標>

「本物の笑顔」かがやく広田っ子の育成



広田小HP

「いのちかがやく強調月間」～利他の心～

この取り組みは、御存知のとおり平成16年6月に市内小学校で発生した事件を契機としております。6月1日「いのちを見つめる日」は今年で20回目を迎えました。「いのちを大切にすること」は当たり前のことですが、何度も繰り返し意識させることが重要と考えます。近年の痛ましい事件を鑑みましても、子供たちが、自他の命を傷つけないよう、将来、自分の子供や周りの人たちにも愛情を注げる成人となるよう指導してまいります。そのためにも、多様な人と関わりながら自他を認め、自分なりの頑張りを見つけ、子ども一人一人のいのちが輝き、笑顔の花が開く学校づくりに努めてまいります。

5月31日の全校朝会では、校長が「利他(りた)の心」について動画を交えながら講話を行いました。(講話の詳細は裏面を御覧ください) 自分のことよりも他人の幸福を願う「利他」という概念は、仏教や道教、ヒンズー教など、さまざまな宗教によって説かれています。言葉自体は、誰かの「名言」というわけではありませんが、実業家の稲盛和夫氏が以下のように語ったことから、広く一般に知られるところとなりました。

『(前略)・・・私たちの心には「自分だけがよければいい」と考える利己の心と、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする利他の心があります。利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。一方、利他の心で判断すると「人によかれ」という心ですから、まわりの人みんなが協力してくれます。また視野も広がるので、正しい判断ができるのです。・・・(後略)「出典:京セラフィロソフィ(2014 稲盛和夫)』

「いのちを大切にすると、自他を大切にすると」という生活から生まれると考えます。「スリッパならべ」「笑顔であいさつ」という行いもその一つです。



はきものそろえ「スリッパ立派」



笑顔かがやく「朝のあいさつ」



講話で使用した動画(1分)

<5月31日(金)全校朝会校長講話内容(一部抜粋)>

広田小学校のみなさん、おはようございます。

※「児童の挨拶がよくなっていますよ」という地域の方の話から入りました。

このように、みなさんの行いは、学校に来るときや帰る時、休みの日に公園などで遊んでいる時など、色々な所で、みなさんのことをよく見ていらっしやいます。いいところを見つけてくれているんだな、うれしいな、と思いました。

でも・・・中には、あいさつ?めんどくさい!無視しちゃえ!とか・・・スリッパならべ?めんどくさい!散らかしちゃえ!・・・こんな悪い気持ちも 心のどこかにあるかもしれません。でも、それでいいのかな?無視したら相手の人が悲しくならないかな?スリッパを次につかう人が困らないかな・・・と考えると、挨拶もスリッパ立派もできるのかもしれませんが。私たちは、自分の心を見つめ、次にどんなことをすれば、気持ちよくなれるか考えて動くことが大切です。

そこで、今日は、心を見つめ、みんなが気持ちよくなれる方法について考えてみましょう。まず、みなさんが毎日生きていくために一番大切なこと、それは、「命を大切にすること」です。今日は飛び出しとか川で遊ばないという命を守るのではなく、みんなで助け合い、支え合って命を大切にすること、命を輝かせることについて考えてみます。まず、皆さんに、見て欲しいビデオがあります。

1分間のビデオ、絵と音楽だけ、言葉はありません、ですから、よく見ていてください。ビデオは2回みせます。1回目と2回目の間で校長先生からお話を入れます。

※<ビデオ視聴1回目>ビデオ内容の解説<ビデオ視聴2回目>

※視聴動画は「One Human Family, Food for All」と検索すると視聴できます。

いのちを大切にする、命を輝かせるとは、こんなことができる世界ではないでしょうか。明日は、6月1日、「いのちを見つめる日」、そして6月は「いのち輝く強調月間」という月を迎えます。私たちは、一人に一つの命をいただき、自分らしくよりよく生きようとしめます。その中で、色々な人と出会います。生きるために、誰かを傷つけたり、奪ったり、いじめたり、いじわるしたりすると、その人も周りの人も、幸せになれません。いのちを見つめるとは自分をよく見つめることです。いのちが輝くとは助け合うこと、支え合うことから生まれます。相手を大切にすることで幸せが生まれます

自分も大切にされることで、うれしい気持ちがあげられます。うれしい気持ちは、ニコニコ笑顔に表れ、きらきらと命が輝くのです。あいさつも、スリッパ立派も、周りの人を大切にし、自分も幸せな気持ちになることで、命を輝かせることにつながるのです。

広田小学校のみなさんは、それができる子どもです。いのちを輝かせる広田小学校は、みんなで助け合い、支え合い「笑顔でチャレンジする広田小」をめざすことが昨日の代表委員会でも話し合われました。学級の先生をはじめ、広田小学校の先生は、そんな皆さんを応援します。これからも、命かがやく、笑顔でチャレンジする広田っ子になれるよう、がんばってください。これで、お話を終わります。

※6月3日(月)～6月7日(金)は、学校開放週間として保護者や地域の方に、校内を自由に御覧いただく期間としております。御来校お待ち申し上げます。